

## 防災 地震の発生に備えよう！

地震は一般の気象災害とは異なり、事前に発生を予測することはできませんが、日頃からの備えを行うことで被害を軽減することは可能です。

<b>家具の固定</b> 	<b>非常用持ち出し袋の準備</b> 	<b>水や食料の備蓄</b> 
<b>避難場所や避難経路の確認</b> 	<b>感震ブレーカーの設置</b> 	<b>建物の耐震化</b> 

## 準備 非常用持ち出し袋の準備を！

大災害により電気や水道などのライフラインが止まっても、ある程度は自力で生活できるよう、飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大切です。また、自宅が被災して避難所で過ごすしなければならない場合もありますので、避難所生活に必要なものをリュックサックなどに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるよう備えておきましょう。



▲防災マップ

<b>非常持出品</b> 両手が空くようリュックに入れる ※重量 10 kg以下を目安に <ul style="list-style-type: none"> <li>□非常食 □飲料水</li> <li>□常備薬・お薬手帳</li> <li>□貴重品(通帳・保険証・印鑑等)</li> <li>□現金 □家・車の鍵</li> <li>□洗面道具 □筆記用具</li> <li>□はさみ・缶切り</li> <li>□携帯電話・充電器</li> <li>□懐中電灯・乾電池</li> <li>□ラジオ □軍手</li> <li>□衣類 □寝具 など</li> </ul>	<b>備蓄品</b> 自宅や避難所で過ごすための物 ※点検を定期的に行いましょう <ul style="list-style-type: none"> <li>最低でも3日分(できれば7日分)を備蓄</li> <li>□飲料水(1日2L×家族の人数×3日分)</li> <li>□食用(インスタント・缶詰など)</li> <li>□カセットコンロ・ボンベ</li> <li>□ポリタンク □携帯トイレ</li> <li>□紙皿・紙コップ・割り箸</li> <li>□ラップ・ポリ袋</li> <li>□洗面・風呂セット など</li> </ul>	<b>ローリングストック法</b> 使いながら備蓄するローリングストック法で、常時保存しましょう 普段から食べる食品を少し多めに買って置き、賞味期限が切れる前に食べ、食べた分を買い足して一定の量を備蓄していく方法(飲料水、レトルト食品、缶詰など) 
---	--	---

## 避難 地震が発生し揺れを感じたら、状況に応じて行動を！

<b>家庭で</b> 頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる 	<b>屋外で</b> ブロック塀や電柱、自動販売機など倒れる危険のある場所から離れる 	<b>沿岸部で</b> 津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する 
--	---	--

# 備えよう

## あなたとあなたの大切な人のために

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」では多数の人的被害や家屋の倒壊、津波による被害、道路の寸断、停電・断水等の壊滅的な被害が発生しました。

鹿児島県では今から110年前の大正3年(1914年)、「桜島大正噴火」の前後に発生した直下型の大地震による強い揺れで、大きな被害が生じた事例があります。また、「種子島東方沖地震」や「南海トラフ地震」では、揺れだけでなく津波などによる被害も想定されています。

このような地震災害は、いつ、どこで起こるか分かりません。私たちの身近なところでも起こり得るのです。そのとき何をすべきか、どのように備えればいいのか、今一度考えてみましょう。

☎市安全安心課 ☎0994-31-1124

## 鹿屋市で被害が生じる可能性の高い地震と津波



- 種子島東方沖  
マグニチュード 8.2  
最大津波高 2.36m 到達時間 318分
- 南海トラフ(西側)  
マグニチュード 9.1  
最大津波高 3.2m 到達時間 81分
- 鹿児島湾直下  
マグニチュード 7.1  
最大津波高 2.36m 到達時間 32分

**いずれも最大震度6弱を予想**  
 震度6弱とは、立っていることが困難になる強い揺れです。固定していない家具の大半が移動し倒れます。壁のタイルや窓ガラスが破損し、建物が傾いたり倒れたりすることがあります。

## 地震発生時の行動

地震発生	1分～5分	5分～10分	10分～数時間
<b>命を守る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 落ち着いて自分の身を守る</li> <li>※家屋倒壊や土砂災害の恐れがある場合は避難</li> </ul>	<b>家族を守る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 家族の安全を確認</li> <li>□ 火元を確認、消火</li> <li>□ ケガをしないように靴を履く</li> </ul>	<b>地域を守る</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 隣近所の安全確認</li> <li>□ ラジオなどで情報を確認</li> <li>□ ガスの元栓を閉める</li> </ul>	<b>助け合い</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 協力して救出活動</li> <li>□ 水や食料は備蓄品でまかなう</li> <li>□ 災害・被害情報の収集</li> </ul>